



あい 愛 逢

第
32
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 長谷川 達雄

発行日 2010年6月1日

第7回総会開催されました



長谷川達雄 理事長 挨拶

5月22日(土)、18時30分より、小中島会館で第7回総会が開催されました。

今回の総会は、愛逢にとって長年の夢であった「看取りの家」構想が昨年11月に「ホームホスピス愛逢の家」として実現したことを祝いその意義を確認しあう総会となりました。長谷川理事長の挨拶の中で、



懇親会

そして活動報告の中では兼行理事がこれまでの経過と、これからの歩みに



40人が集まった会場

ついて丁寧に、熱く語っていただきました。

「愛逢の旗」が決まりました

また、もう一つの話は、総会の最後に「愛逢の旗」を決めたことです。(右下)は、そのモデルです。

総会の後は、懇親会で、和気藹々の雰囲気の中で夢を語りあいながら全日程を終了しました。



2010年度の基本方針は

総会で決められた2010年度活動計画の柱は、以下のようになります。

- (1) ホームホスピス「愛逢の家」の運営を安定させる。
- (2) 人づくり—各部門研修、ボランティア研修、リーダー研修等に力を入れる。
- (3) 園田地域の「助けあい・支えあいのネットワークづくり」(仮称)を検討する。

中期ビジョン(3年計画)の2年目に当る今年度は、昨年度の実績をふまえながら到達目標が展望できるよう一つ一つ丁寧に実践を積み重ねていきます。

会員の皆さん!地域の皆さん!ご協力の程よろしくお願ひします。

ボランティアグループ「withあい」設立

ぼちぼちいこか---With あい

最期は自分の家で安らかに迎えたい…とは誰しもが思うことです。ところがその当たり前のことができにくい世の中になってきているとは思いませんか？

園田にターミナルケアを行うホスピスホーム「愛逢の家」が昨秋オープン。この小さな家が気になる仲間20人が集まって4月7日に「With あい」（「愛」を持ち「愛逢の家」に寄り添う）を発足させました。会則には「愛逢の家でのボランティア活動をとおして、入居者が心豊かに安心して最期まで住み続けられる環境づくりの支援をする。またボランティア活動で得られる学びや気づきを共有し、会員相互の資質向上をはかることを目的とする。」とうたってあります。

受け入れ側の兼行さんには「ターミナルでもどれだけ普通の生活ができるかを支えていく、サポートするということなので普通にお付き合いをしてほしい。」とエールをもらいました。

街中にある普通の民家で何ができるかはまだわかりません。あーでもないこーでもな

尼崎市長 白井文さん「愛逢の家」に来訪



白井文市長と坂本理事

『愛逢の家』に尼崎市長の白井文さんが訪れて入居者さんと3時のお茶を楽しまれました。先日、白寿のお祝いをされた元気な女性、60代の男性、そして二人の女性、現在4人の方が住んでおられます。白井市長はひとりひとり

の方のそばに寄り添われお話されていました。入居者さん、ヘルパーさんは大喜びの表情で楽しい雰囲気を感じ取れます。

市長がニュースで『愛逢の家』の事を知って今日の訪問が実現したようです。管理者の兼行さんの「運営費が大変、また入居者の負



左上から中村裕子さん、中田佳代子さん、
 鵜飼アユさん、芦田清子さん、香川末子さん、
 左中から西村公平さん、笹川克比古さん、
 海士美雪さん、林光子さん、丸井ヤスエさん、
 左下から坂本敬子さん、中村須栄子さん、
 兼行栄子さん、生山紀代子さん

いと、まあ～あわてずさわがず「ぼちぼちいこか」ということや。

※「ぼちぼちいこか」は私の好きな絵本のタイトルです。

<代表 海士 美雪>

担も大変、何らかの制度ができれば、これからの高齢化社会に対応していけるのでは・・・」といろいろの説明に真剣に耳を傾けておられました。

市長さんに『愛逢の家』の感想を一言聞いてみました。

「まず自分がおじゃまして良かった。このような施設『愛逢の家』が尼崎に在ることを誇りに思います。」



『愛逢の家』のみなさんと白井文市長

介護保険・自立支援・たすけあい活動

6年前にNPO法人になり介護保険、障害者自立支援の活動がスタートしましたが、元々は阪神医療生協のなかの「くらしの助け合い愛逢くらぶ」で、困ったときはお互いさまの精神で活動していました。



法人になった今もたすけあい活動は継続され、介護保険・自立支援内でできなかったこと、たとえば入

院された時、制度は利用できなくなります。そんな時、病院に行き食事介護、買い物等の援助、他にも引越しされた後のお手伝い、動物の世話、等々をさせてもらっています。

愛逢ヘルパーは、困ったときはお互いさまの精神をもちつづけて、頑張っています。

また困ったこと、わからないことなどがありましたら、いつでも愛逢事務所へお越しください。

<中田 佳代子>

「ヒロシマ平和行動」の愛逢の代表を募集します。

阪神医療生協の協力を得ながら、8月4日、5日の

「ヒロシマの平和行動」に愛逢が代表を派遣します。希望の方は、

各部門の責任者か、愛逢事務所(6493-1424)まで

お申込み下さい。お待ちしております。

第2回「NPO愛逢歩こう会」日程の変更



(行き先)

貴船神社～鞍馬寺

日 時 **6月27日(日)** 阪急園田駅 9時集合

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、
仲間と支えあい(愛)、つながり(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

- 敬称略 -

(期間：1月1日～5月31日)

匿名希望 3名 米田昌子 小西加保留 永嶋美津江 橋平浩子

石井淑子 海士美雪 緒方和美

社会福祉法人さくらんぼ の方々に

当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

おとなの川柳

『禁煙標語』(阪神医療生協の標語募集に投稿されたものです)

- 『あなたが良くてまわりがめいわく その煙』
- 『ポイ捨ては 青い地球を 汚してる』
- 『息子吸う「やめろ」と言って 俺もやめ』
- 『値上げまで 待たない今から もう止めよう』
- 『風下へ 歩きたばこの 煙攻め』

ホ ッ ト 待 夢



絶好の行楽日和となって今日この頃、介護旅行の相談をあちこちから受けるようになった。行程表を書いては消し、書いては消しの毎日で自分の旅はどこへやら、部屋の中が行程表だらけになってしまった。それを見ていた友人が「これいいなあ」などと言って「榊原温泉」や「伏見十石舟」に行ってきたようである。タイミングがよかったのか十石舟は貸切状態だったらしく、ご満悦の笑顔で帰ってきた。次は車イスや杖歩行の人たちの笑顔を見るべく行程表作成をしている合間でこれを書いている。そろそろ戻って、明日の締切りのを仕上げよーっと！！

< 旅するオトコ >